

学生へのメッセージ

学 科	看護学科	学 年	1		
科 目 名	栄養学				
担 当 者	米田孝司				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.3	4.3	4.3	4.2	4.2	
学生へのメッセージ					
<p>「教科書に引くマーカーはどういう意味で色分けしているのか」の問いは看護国試によく出ている内容と他の重要な内容に色分けしましたが、少し説明不足だったのだと思います。しかし、「常に生徒が困ったことはないか確認して、丁寧な説明をしてくださっていた」という意見は私の講義基本なので非常に励みになります。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	看護学科	学 年	1		
科 目 名	情報メディア演習				
担 当 者	田中達也				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.8	4.4	4.5	4.5	4.5	
学生へのメッセージ					
<p>本演習は、数理・データサイエンス・AI に関する知識及び技術に関する応用的な学修と、大学生活や就職活動、社会人として必要となるプレゼンテーションに関する技法を学修することが目的でした。</p> <p>授業では、Office ソフトの利活用や Teams を活用したグループワークを実施しました。ここで身に付けた技能は、今後の大学生活のみならず、実生活、就労時にも活用することができます。しかし、ここでの内容がすべてではありません。AI を中心とした VUCA の時代においては、これからも時代の最先端の技能を自分自身で学んでいく必要があります。</p> <p>今回の学びをきっかけに、自身の学びの更新、スキルアップを目指すことができるよう、頑張ってください。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	看護学科	学 年	1		
科 目 名	精神看護学概論				
担 当 者	立垣 祐子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.1	4.8	4.7	4.6	4.8	
学生へのメッセージ					
<p>授業評価アンケートへのご協力ありがとうございました。この科目では、精神に疾患をもつ人々や広く人のこころについて理解するための理論、さらにそれらの人々へのケアの道しるべとなるオレム-アンダーウッド理論について紹介しました。専門用語がたくさん出てきて難しかったと思いますが、この授業に満足している方が多数おられたこと(4.82/5.00)にびっくりしています。履修生の皆さんは、“患者さんの心を理解したい”という気持ちが強い方が多かったのかなと嬉しく感じました。理論は使うことによって、看護師の思考に自然に定着しています。今、難しいと感じることは自然なことだと自分自身を理解してあげてください。自由記載では、「良かった」という評価内容が23件、「改善すべき」という評価内容が4件寄せられました。次年度の参考にさせていただきたいと思います。貴重なご意見をいただきありがとうございました。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	看護学科	学 年	3		
科 目 名	健康支援実習Ⅱ(精神)				
担 当 者	立垣 祐子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
4.8	4.2	4	4.1	4.1	
学生へのメッセージ					
<p>授業評価アンケートへのご協力ありがとうございました。履修生 80 名中 20 名の履修生の方々が回答を寄せてくださいました。この授業で良かった点としては、「必要以上にカルテをみないことによって患者さんとのコミュニケーションが重視できた」、「地域で暮らす精神障害者の方々と実際に関わられたこと」等 3 件寄せられていました。改善すべき点としては「教員間での連携がとれていないのではないかと感じた」という内容が 4 件寄せられました。この点については、来年度の課題として取り組んでいきたいと考えています。貴重なご意見をありがとうございました。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	看護学科	学 年	1		
科 目 名	公衆衛生学				
担 当 者	栃倉匡文				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.3	4.1	3.9	4.1	4.2	
学生へのメッセージ					
<p>授業でも触れましたが、感染症対策、医療・介護保険、食中毒、環境問題など公衆衛生学は私たちの生活に密接に関わっています。内容が多岐にわたっていたため、事後学修に苦勞したと思いますが、公衆衛生学は実社会で役立つ学問です。日頃から公衆衛生に関する情報に興味を持つようにしてください。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	看護学科	学 年	1		
科 目 名	教育社会学				
担 当 者	伴仲謙欣				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.5	5	4.9	5	5	
学生へのメッセージ					
<p>履修生のみなさん、授業お疲れ様でした。そして、授業評価にご協力していただき、ありがとうございました。</p> <p>この科目は教職課程科目ですので、通常の看護過程に加えた授業で、さぞ大変だったことと思います。さらにこの授業は、入学していきなり「教える」⇔「教えられる」という立場を共に経験する内容ですので、チャレンジングだったかもしれません。授業準備にも苦労されたことでしょう。しかし、みんなが最後まで主体的にチームにコミットした結果、とても前向きな授業になったと思います。よくがんばりました！ぼくもみなさんの授業を聞いて楽しかったです。</p> <p>どうせ同じ授業を受けるなら、少しでも前向きに捉えて取り組む方が結果も良くなるはずです。看護と教職課程とのダブルライセンス取得は忙しいと思いますが、主体性をもって夢の実現のためにがんばってください。教職で学んだことが、必ず看護分野でも役に立つはずですし、その逆もまた真なりです。応援しています。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	看護学科	学 年	1		
科 目 名	小児看護学概論				
担 当 者	庄司靖枝				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.8	4.8	4.7	4.6	4.7	
学生へのメッセージ					
<p>ほとんどの皆さんが授業のアンケートにお答えくださり、皆さんが授業の内容から考えたことや学んだことなど理解することができました。皆さんの質問に答える私もこの授業を行い楽しかったです。これから学ぶいろいろな単元で興味をもって望み、先生に尋ねていくと、授業も面白くなると思います。</p> <p>これからも、子どもたちに興味をもって接してあげてください。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	看護学科	学 年	4		
科 目 名	医療・看護特論Ⅱ（医療専門職の動向）				
担 当 者	尾崎雅子、庄司靖枝、島内敦子、岩切由紀、中田康夫、谷口由佳、立垣祐子、 原希代				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.9	4.5	4.5	4.5	4.6	
学生へのメッセージ					
<p>本科目は4年間で学んだ看護実践に必要な知識の修得状況の確認を目的に、4年生の後期に配置されています。国家試験を目前にして、課題に取り組む皆さんの姿を見てみると、「4年間経ったのだなあ」と感慨深く思うと同時に、何とか国家試験に合格してほしいという願いを抱きながら授業を進めました。</p> <p>授業評価の結果は学科の平均とほぼ同様の結果でしたが、カテゴリーⅠ（学生自身）は昨年（4.5）に比べると低かったです。国家試験の勉強に取り組んでおられる時期ですから授業外の学修時間は確保しておられたと思いますが。看護の7領域（基礎、成人、老年、小児、母性、精神、在宅）と専門基礎の計8分野からオムニバス形式で授業を行いました。各分野の特徴もあり、授業方法はそれぞれ異なりましたが、この時期の授業では皆様自身が自らの学修状況を確認して、何をすればよいのか考えていただくことが重要だと思います。</p> <p>最後になりましたが、授業評価のご協力いただきありがとうございました。授業後の依頼となったこともあって20名と少ない方の回答でしたが、この結果を次年度以降に活かしていきたいと思います。</p> <p>担当者一同、皆様のご活躍を期待しております。</p> <p>（文責：尾崎）</p>					

学生へのメッセージ

学 科	看護学科	学 年	4		
科 目 名	看護学研究				
担 当 者	尾崎雅子、鈴木志津枝、岩越美恵、庄司靖枝、魚崎須美、十九百君子、島内敦子、岩切由紀、中田康夫、谷口由佳、藤原桜、横山利枝、黒野利佐子、立垣祐子、伊東愛、西村充弘、阿児馨、伊東美智子、野田部恵、尾崎優子、紀ノ岡浩美、原希代、中村由果理、江口実希				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.6	4.3	4.2	4.5	4.4	
学生へのメッセージ					

本科目は看護の対象に質の高い看護ケアを提供するために、また看護学の理論や実践を体系的に確立していくために、自らの立てた課題に向けて取り組んでいく研究的態度を身に付けることをねらいとしています。課題に対する“こたえ”は導き出せたでしょうか。

授業評価の結果は学科の平均とほぼ同様の結果でした。頑張られた成果が反映された結果だと思います。授業形態がゼミ形式で、教員と学生との距離が近く、意見交換が良くできたのではないですか。「先生と実習体験など振り返っていくうちに自分の看護観に気づき、看護が好きなんだということに気づけた」との意見もありました。反面、長い時間をかけても思うように進まず困ってしまった人もあったかもしれません。多くの教員が関わるので、今後も教員間の調整をしっかりしていきたいと思います。看護学研究は臨床に出ても続けていくこととなります。今回は3年次に学んだ「看護研究方法」を手がかりに自分で進めてみる初めての研究でしたが、この経験を今後活かしてください。

最後になりましたが、授業評価のご協力いただきありがとうございました。国試前の時期であったこともあり35名の方からの回答で、やや少なかったですが、貴重なご意見としてこの結果を次年度以降に活かしていきたいと思います。

担当者一同、皆様の今後のご活躍を期待しております。

(文責：尾崎)

学生へのメッセージ

学 科	看護学科	学 年	2		
科 目 名	学校保健				
担 当 者	中西 利恵				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.63.6	4.5	4.5	4.4	4.5	
学生へのメッセージ					
<p>この授業は中西・光安の二人で担当しました。15回授業内容のうちそれぞれの専門分野から、中西が保健教育と保健管理の対物管理・組織活動の分野を7回、光安が保健管理の対人管理（保健室管理）分野を7回担当し、初回の「オリエンテーション・学校保健とは」は中西が担当しました。</p> <p>テキストはあえて購入はせず、テキストの代わりとなる授業資料を各回配布しました。そのため資料枚数は多くなりましたが、ほとんどの学生さんがファイリングし管理してくれていたようです。授業時に、知識の定着を図るため、小問題を出したりしましたが、空欄を埋める等メモをとり、授業資料を完成させ、真面目に授業に取り組んでおられました。</p> <p>座席は指定しました。そのためか、活発に意見交換するグループとそうでないグループがあり、グループの構成まで配慮するのは難しいため、あまり離れたことがない学生とも今後は積極的に意見交換に挑戦してみてください。</p> <p>授業評価は学科平均とほぼ同程度でした。が、授業に関する「学生自身」の取り組みについては、学年平均より0.2ポイント低くなっていました。なお、授業評価の回答については、最終授業時にQRコードを投影し、その場でスマホを出して回答を依頼しましたが、回答率が40%弱であった点は意外であり残念です。</p> <p>出席状況については、4～5回の欠席者が数名いたことや、1限目授業であったことから、遅刻者も毎回居ました。特に、成人式の翌日の授業日は出席が6割ほどでした。これは、仕方ないですね。総じてみな時間までに登校し、受講準備をされていました。</p> <p>提出物については、多くの学生が丁寧に仕上げしており、中には、是非次年度の受講生への見本に活用したいような完成度の高いものもありました。</p> <p>保健師資格取得、養護教諭一種免許取得をめざす学生さん、取得めざしてどうぞがんばってください。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	看護学科	学 年	1		
科 目 名	教育心理学				
担 当 者	柳原利佳子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.3	5	4.9	4.5	4.5	
学生へのメッセージ					
<p>教育学部の1年生との合同開講のため、人数的に教育学部学生に圧倒されていないかどうか、少し気になっていました。いかがだったでしょうか？今回は有効履修者数が5名と少ない中、アンケートに回答して下さったのは2名でしたので、おふたりの意見が全体的な傾向とは言えないものの、肯定的なご意見をいただきありがとうございました。この科目は心理学の専門用語や研究者名などたくさん出てくるので、各回の復習が重要です。教員採用試験に向けて、過去問を解くなど定期的に教育心理学で学んだことを忘れないようにしてくださいね。ご意見ありがとうございました。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	看護学科	学 年	3		
科 目 名	公衆衛生看護展開論演習 I				
担 当 者	伊東愛				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.5	4.5	4.4	4.7	4.6	
学生へのメッセージ					
<p>講義内容を踏まえて各自が時間外学習を行ってきた上で、グループメンバーが協力してグループワークできました。地域を見るという幅広さに難しさや大変さがあったと思います。体験したことを実習で活用してください。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	看護学科	学 年	3		
科 目 名	公衆衛生看護展開論II				
担 当 者	伊東愛				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.3	4.9	4.8	4.8	4.8	
学生へのメッセージ					
<p>講義コマ数に比して授業内容が盛り沢山だったと思います。頑張って保健師活動や保健師の役割を学んでくれました。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	看護学科	学 年	3		
科 目 名	公衆衛生看護展開論演習Ⅱ				
担 当 者	伊東愛				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
4.3	4.9	4.8	4.8	4.8	
学生へのメッセージ					
<p>他の科目との重複を避け、実習で必ず体験するであろう内容を絞って演習内容を設計しています。個人やグループでの時間外学習も真面目に取り組まれました。実習で活かして欲しいと思います。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	看護学科	学 年	2		
科 目 名	健康相談の理論と方法				
担 当 者	伊東愛				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.8	4.2	4.2	4.3	4	
学生へのメッセージ					
<p>講義科目ですが、看護師として就職した際に役立つように、様々な方からの様々な相談内容に対応できるような演習を組み入れています。疑問や意見については毎回授業中尋ねていますが、言いにくい場合は感想メモを活用して欲しいと思います。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	看護学科	学 年	3		
科 目 名	公衆衛生看護展開論 I				
担 当 者	伊東愛				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.8	4.8	4.6	4.5	4.7	
学生へのメッセージ					
<p>本講義で習ったことを演習・実習で活用できるように設計していますが、皆、真面目に取り組まれています。実習でも活用して欲しいと思います。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	看護学科	学 年	2		
科 目 名	教育方法・技術論				
担 当 者	大森雅人				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.4	4.5	4.6	4.1	4.6	
学生へのメッセージ					
<p>本授業は、養護教諭の教育実践における教育方法に焦点をあてて、教育方法の開発や改善等にかすことができる理論と方法を理解して、身につけて頂くことを目的としていました。そのために教育方法に関する理論的・実践的な学習を行いました。その際は、日本の教育方法に関して幼児教育段階から高等学校教育の段階までの特徴を俯瞰するとともに、教育方法開発の基礎となる理論や考え方、教育方法を改善するための方法に関して考察し、さらに、ICTを活用した教育方法や教材作成、教育的機能を持つ学習環境の活用等の実践的内容についても取り扱いました。</p> <p>養護教諭にとっての教育実践とは何かを理解して頂き、その実践をより効果的にするための教育方法を開発し改善することができる能力の育成を目指した授業でした。最終レポートの記述を拝見すると、おおむね目標とした能力が育成できたのではないかと考えています。毎回提出されたレポートは、私の楽しみでもありました。</p> <p>授業方法に関しては、一方的に知識を伝達する授業ではなく、できる限り皆さん自身に考えていただくように心がけました。この授業方法だと、伝達できる知識の量は少なくなりますが、自身で考えることで、心に残ったことも多かったのではないかと考えています。</p> <p>授業の中でも話しましたが、養護教諭の教育実践は、さまざまな可能性を持っています。児童・生徒の一生の健康をプロモートする要の存在として、ご活躍いただけることを心より期待致しております。</p> <p>教育方法に関して、何かお聞きになりたいことがありましたら、遠慮無く研究棟5階の研究室にお越し下さい。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	看護学科	学 年	1		
科 目 名	老年看護学概論				
担 当 者	谷口 由佳				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.9	4.4	4.5	4.6	4.7	
学生へのメッセージ					
<p>授業評価へのご協力、ありがとうございました。</p> <p>大学で学ぶ初めての老年看護学でしたが、いかがでしたか？この授業を通し、これから老年看護学を学んでいくうえで大切になる高齢者観について、それぞれが何らか学び得てくれていることを願います。</p> <p>また、授業評価の自由記述において、教室の規模など学習環境の不備に対し要望がありました。学びやすい学習環境の確保について、意識していきたいと思います。</p> <p>2年生では、老年看護学をより専門的に学んでいきます。今の皆さんの老年看護学に対する興味・関心をさらに高められるよう、より充実した授業を目指していきたいと思います。またお会いできることを楽しみにしています。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	看護学科	学 年	2		
科 目 名	老年援助論				
担 当 者	谷口 由佳				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4	4.4	4.4	4.5	4.4	
学生へのメッセージ					
<p>この授業を通し、老年看護の実践者としてのあり方を皆さんと一緒に深く考えることができたことを嬉しく思っています。この授業は、2コマ続きが15回続く、非常に長い経過をたどります。授業を円滑に進められたのも、皆さんが協力してくれたおかげです。本当にありがとうございました。</p> <p>3年次の療養支援実習 I では、これまでの学びの成果を発揮し、老年期にある人々の社会生活の営みを可能な限り豊かにするための看護支援について、さらに探求して行ってほしいと願います。</p> <p>最後に、定期試験ですが、心配しているという私の言葉に対し、底力を発揮してくれたことに感心です。この2年生、やればできる学年、力のある学年ですよ！</p> <p>皆さんからいただいた貴重な意見を今後に生かし、より充実した授業を目指していきたいと思えます。またお会いできることを楽しみにしています。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	看護学科	学 年	2		
科 目 名	特別支援教育				
担 当 者	岩越美恵				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.6	4.4	4.3	4.4	4.2	
学生へのメッセージ					
すみっこぐらしの着席で、内職も多々見られ、次年度までに授業方法を練ることにします。					

学生へのメッセージ

学 科	看護学科	学 年	2		
科 目 名	症候論II				
担 当 者	岩越美恵				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.7	4.3	4.3	4.4	4.5	
学生へのメッセージ					
ゆとりを持った時間配分を検討します。					

学生へのメッセージ

学 科	看護学科	学 年	1		
科 目 名	看護病理・病態学				
担 当 者	塩谷英之				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.6	4.7	4.7	4.6	4.7	
学生へのメッセージ					
<p>授業評価として総合評価で 4.7 と比較的高い評価であったのでこの授業形式を続けようと思います。ただ授業以外に学修した時間が少し短いのでこの点の改善を務めようと思います。学生さんに学修ポイントをもう少しはっきりと示すように工夫します。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	看護学科	学 年	4		
科 目 名	教職実践演習				
担 当 者	岩越美恵、成山文夫、竹下三隆				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.7	4.9	4.9	4.9	4.8	
学生へのメッセージ					
<p>みんな、養護教諭職の最後の仕上げを集中して、発言してがんばりました。竹下先生からは「今は『自分』という作品の制作途中です。自分だけで制作するのではなくて、いい作品にしてくれそうな人との出会いを大切にしてください」というメッセージが届いています。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	看護学科	学 年	4		
科 目 名	養護実習指導				
担 当 者	岩越美恵				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.2	4.8	5	4.9	4.8	
学生へのメッセージ					
<p>みなさん、実習を前に保険の授業創りをがんばりました。次年度以降はもっと、基礎の教育系科目の中でも、授業の演習を経験していただくようにします。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	看護学科	学 年	2		
科 目 名	保育内容（造形表現）				
担 当 者	山成昭世				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ （学生自身）	カテゴリーⅡ （授業内容）	カテゴリーⅢ （授業方法）	カテゴリーⅣ （学修成果）	カテゴリーⅤ （総合評価）	
3.3	3.8	3.7	3.8	3.9	
学生へのメッセージ					
<p>模擬授業での指導案作成は経験も少なく子どもの造形活動のイメージは難しかったと考える。学生は保育者や教員を目指しているプロの卵であると考えている。そのために授業中に常時携帯を見る態度等はなさげなく厳しく注意している。今後は皆さんに届くように山成の注意や言葉かけの方法を改善するように心がけたい。厳しい指導や発言に対し、何でもいいから「ほめて伸ばす」をはき違えて「いいよ、いいよ、よくできたね、素晴らしい」の言葉の裏側を疑ってみてほしい。</p> <p>模擬保育の指導案の添削では、20年のキャリアをもつ保育者の方に協力してもらい、学生作成の指導案に目を通していただいた。学生の指導案の基本的な内容は押さえられ、今後の皆さんに役立つであろうと考える。参考にさせていただきたい。</p> <p>造形は子どもが物や環境と関わり、手を使い感性を働かせる活動です。保育者を目指す皆さんがいろいろな造形活動のワークショップに参加し、美術館に出向いて皆さんの感性を豊かにするように心がけてください。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	看護学科	学 年	1		
科 目 名	感染看護学				
担 当 者	山口有美				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.5	4.5	4.6	4.6	4.6	
学生へのメッセージ					
<p>感染看護学で学んだことを今後の学修に活かし、根拠に基づいた知識と技術を身につけてくださいね。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	看護学科	学 年	1		
科 目 名	英語コミュニケーションⅡ				
担 当 者	千石真理				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学修成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
3.5	4.5	4.6	4.4	4.6	
学生へのメッセージ					
<p>国際化がますます進む中、皆さんの将来の職場でも英語でコミュニケーションを取る場面が多くなるでしょう。今後も引き続き英語を勉強し、多くの人の手助けができる医療従事者になって下さい。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	看護学科	学 年	3		
科 目 名	看護管理論				
担 当 者	岡光幸代				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学修成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.1	3.5	3.5	3.4	3.5	
学生へのメッセージ					
<p>学生諸君にとって、看護管理論は実習段階でありイメージがつきにくく、用語や理論も難しい内容があり、授業だけでは理解できにく科目であったと考えます。抽象的になりがちな内容は具体的事象をあげましたが、具体例と繋げ実感しにくいという感想もありました。受講票では興味をもて今後実習で意識していきたいという感想が多く看護管理を身近に感じてもらえたと思います。</p> <p>マネジメントに必要な理論については、今後も臨床で学ぶ機会もあると思いますが、重ねて学び実際に経験することで身につけていきましょう。</p> <p>看護管理が看護の質と安全保持において重要であることや、看護管理を学ぶ意義については理解できていたと評価します。「看護マネジメント」は看護職として継続して学ぶ内容と言えますので看護概論とともに振り返りつつ成長して行ってください。</p> <p>マイク調整が不良で聞こえにくかった点は事前チェックなど改善したいと考えます。</p>					